



発信元:株式会社いつつ
兵庫県神戸市中央区御幸通 2-1-6
ジェイルミナ神戸三宮 4F
Tel (078) 855-2015

**名人戦で使われた将棋盤駒を 380 万円で購入
子どもたちが日本伝統文化へ触れる機会をつくるため
親子向けイベントでの提供を開始**

「ホンモノの日本伝統文化を世界中の子どもたちのすぐそばに」を理念とする、株式会社いつつ(本社:兵庫県神戸市、代表取締役:中倉 彰子)は、第74期将棋名人戦第3局で使用される将棋盤駒を、公益社団法人日本将棋連盟(本部:東京都渋谷区、会長:谷川 浩司)より380万円で購入いたしました。今後開催される株式会社いつつが主催・共催・後援する親子イベントにて、実際に子どもたちに使用してもらい「ホンモノの日本伝統文化」に触れる機会を提供していきます。

■本将棋盤駒の活用方法について

将棋をはじめとする日本伝統文化の体験親子イベントを開催します。名人戦で使用された将棋盤駒を使用して、最高峰のタイトル戦と同様のスタイルでプロ棋士が行う「対局デモンストレーション」や、子どもたちによる対局体験を提供します。親子ワークショップや、将棋や日本文化の歴史を学ぶプログラムも合わせて提供します。

■伝統文化を子どもたちに伝えていく

近年、環境の変化により、子どもたちが日本伝統文化について理解したり経験したりする機会が減ってきていると言われています(出典元:東京都教育庁指導部「日本の伝統・文化理解教育の推進」など)。そのような中、文化庁が伝統文化親子教室事業として、子どもたちに対して伝統文化に関する活動を継続的に体験できる機会を継続的に提供できるよう、補助金を出しています。

国を挙げて日本伝統文化を子どもたちに体験してもらおうという動きの中、株式会社いつつはプロの将棋女流棋士中倉彰子が代表を務め、イベントや教室事業を通じて子どもたちに日本伝統文化の素晴らしさを伝えてきました。将棋名人戦の盤駒が加わることで、将棋のみならず、将棋の駒や盤という伝統工芸品に子どもたちが触れることも可能になります。

■今後の活動について

現時点でのイベント予定は、6月にこだわりのメガネセレクトショップ「eyevory くずは店」での親子イベント、8月に神戸新聞社主催の「内藤國雄杯争奪兵庫県アマ王位戦」大会(小中学生部門)、9月に神戸市社会福祉協議会こべっこランドでの親子イベントにて、この将棋盤駒を活用する予定となっています。株式会社いつつは、将棋盤駒の値段にちなみ、380回のイベントで使用することを目指します。

■盤駒について

今回購入した将棋の駒は、天童将棋駒 伝統工芸士会 会長である掬水氏によって製作されました。伊豆諸島・御蔵島の黄楊(ツゲ)で、漆を盛って文字を入れている伝統的な盛上駒です。将棋の盤は、東京都マイスター認定 碁盤師、故鬼頭 淳夫氏の作品。岡山県新見産の本榧(ホンガヤ)を使用した7寸5分盤で、樹齢300年の木から製作されました。20年間乾燥させており、全製作工程は30年近くにおよぶ貴重な一品となっています。

この記事に関するお問い合わせ先
株式会社いつつ 担当:高橋・尾崎
TEL: 078-855-2015
e-mail: press@i-tsu-tsu.co.jp

株式会社いつつについて

設立：2015年10月20日

資本金：500万円

事業内容：

1. 日本の伝統文化・伝統芸能の普及啓発活動、商品・サービスの企画、開発、販売およびコンサルティング
2. 日本の伝統文化・伝統芸能に係るセミナー、ワークショップ、研究会等の企画、運営および書籍の執筆、出版並びに販売
3. 地域活性化・地域文化交流、調査分析等を目的とした事業の企画、運営およびコンサルティング
4. 講演会、シンポジウム及びセミナー等のイベント開催
5. 教材、教育機器、教育ITシステムの企画、開発、製作及び販売
6. 教育、学習支援を目的とした事業の企画、運営およびコンサルティング
7. 前各号に附帯する一切の業務

代表取締役：中倉 彰子

本社所在地：神戸市中央区御幸通 2-1-6 ジェイルミナ神戸三宮 4F

ウェブサイト：<http://www.i-tsu-tsu.co.jp>

代表者紹介

■ 中倉 彰子（代表取締役）

女流棋士。女流アマ名人戦連覇後、94年高校3年生で女流棋士としてプロデビュー。プロとして公式戦を戦うだけでなく、穏やかな話しぶりや落ち着いた雰囲気が集まり、NHK杯将棋トーナメントなどテレビ番組の司会や聞き手、イベント司会などでも活躍。妹の宏美も女流棋士で、姉妹をモデルとした映画「とらばいゆ」（2001年、監督：大谷健太郎 主演：瀬戸朝香・市川実日子）の監修も務めた。私生活では3児の母親でもあり、育児と仕事の両立に奮起。2007年日本女子プロ将棋協会設立に参画。子どもへの将棋普及への思いから、子ども向け木製おもちゃブランドWoodyPuddyと共同で、入門用盤駒「はじめてのしょうぎセット」を開発。講談社から入門書籍「親子ではじめるしょうぎドリル」執筆。またその内容を「はじめてのしょうぎ」DVDとしても制作。台本作りから携わる。子育てエッセーを地方紙7新聞に連載していた（現在は東京新聞と中日新聞の2紙）。近年は将棋と知育・育児を結びつけるような活動を広く展開し、2015年10月株式会社いつつを設立、代表取締役に就任。女流初段。法政大学人間環境学部卒。

写真

<http://www.i-tsu-tsu.co.jp/release/PressReleasePictures.zip>

より高画質な画像をダウンロードいただけます。

